寄

居

町

の

選 択

21

議場のリアル

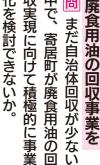
二次元コードから 一般質問の映像が見られます

化を検討できないか。

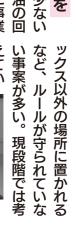
ト)系号で出される、回収ボによっては半数以上が指定以ト, ラッー・ーー につながる点が最大のメリッ 答 ごみの減量化と再資源化 収実現に向けて積極的に事業 **L。デメリットは、各自治体** 現段階では考えていない 寄居町が廃食用油の回



追跡!このテーマ、以前も質問



えてい



TOSCU







追跡!このテーマ、以前も質問

久保鷹矢議員

町民の主体的な活動、

限られた財源、

どの分野で可能か研究

効性、必要性を伺う。 制度」がある。この制度の有 働で取り組む「協働事業提案 がそれぞれ持っている力を出 し合いながら役割を分担し協

人材の中

不可欠。他市には市民と行政 **問** 持続的なまちづくりには 協働事業提案の有効性は 参加が うな分 どのよ 能か、 働が可 野で協



「協働」は道づくりから





「劦動の道づくり事業」の他が協働で取り組むことは有効 で行政課題に対して町民と

Tooku





変わる! 議会

チーム議会の底力

Z世代への 意識を

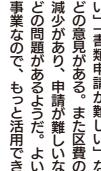
令和5年4月の改選後、現在の議員 構成での寄居町議会がスタート。こ の2年半(10定例会)で多くの議員 が一般質問に登壇し、町に対し、「351 項目の提案」をした。

1期の議員がほぼ毎回登壇しているこ とが大きく関係し、現在のところ、1 定例会 平均約35項目の提案。前議 会 (令和1年~5年) の4年間で「278 項目・1定例会平均17項目」を大き く上回っている。しかしながら、その うちZ世代にダイレクトに関係する ものは、「14項目」にとどまった。

議会全体でも、人口の割合の多い高 齢者世代に関する提案が多いことに 気付く。我々議会がZ世代への意識 を高めていくことが重要。町の人口 の約10%のZ世代へ比重を置いた政 策提案にも注力していきたい。

(ヤングケアラー、若者会議、婚活、二十歳式 etc...)





砂利道、まだまだ多い!

追跡!このテーマ、以前も質問

つながる。希望者のみの活用

ても管理等の面で負担軽減に

護者だけでなく、 (月額定額制)

職員にとっ

サ

が大きい。

導入の考えは。

無料で提供される等メリッ

災害時は地域住民にも

導入を 認識。 便性は クの利

追跡!このテーマ、以前も質問

減少があり、 どの意見がある。 加でコンクリー

い」「書類申請が難しい」な遠い状況で「補助金額が少なっているが、目標件数には程 「協働の道づくり事業」を行 申請が難しいなめる。また区費の ト舗装する

答補助金増額等の検討を 検討していく



質問

本間政道議員

各地区の負担軽減へ

町では生活道路を住民参

追跡!このテーマ、以前も質問

廃止含め、在り方を検討し答 財政負担が非常に大きい

廃止を含め検討が必要

莫大な経費がかかる施設

追跡! このテーマ、以前も質問

急に実現に向けて予算化に努 を計上。この機会を捉え、 る。国でもこのことに補助金 孝議員

原口

現状かかっている費用約

汚泥再生処理センタ・

には、

億5000万円を削減すれ

えば大幅

を要するが、

ゝるが、利用調整を行計画変更と施設整備

稲山良文議員

流域下水道への接続

町民の強い願望 予算化へ

総合体育館は各種スポ

災害発生時

17 性Aがいられる すらづくり

この事業を継続するのか

教育、

ば、その予算を子育て支援、

減が見込 な経費削

活泥再生処理センタ 毎 85 87

の設置は町民の強い願望であ 多目的トイレ及び冷暖房設備

に検討 前向き に向け

の中心的避難所。 ツの中心的施設、

一日も早い

万円かかる見込み。

早期実現

の結果、概算で3億5000

答 冷暖房等設備の基本設計

早期実現に向け努力する

なげることができるが、

ごとができるが、いか町民サービス向上へつ













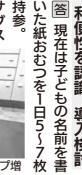






関係なく使い放題のサブスク おしりふきを、 問手ぶら登園は、 オムツのサブスク導入は サイズや枚数 紙おむつ・

ビス。保 サブス 持参。









) 担



